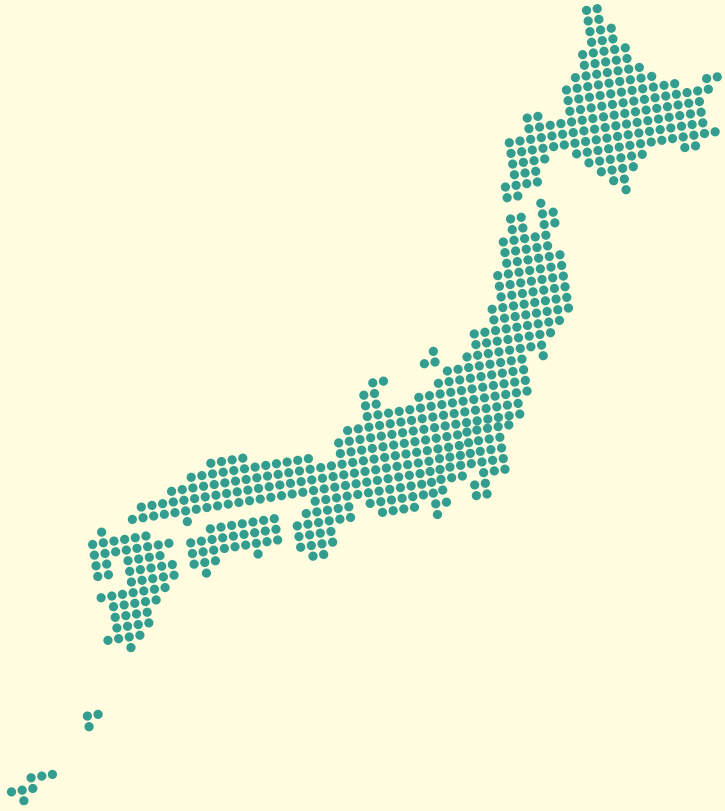


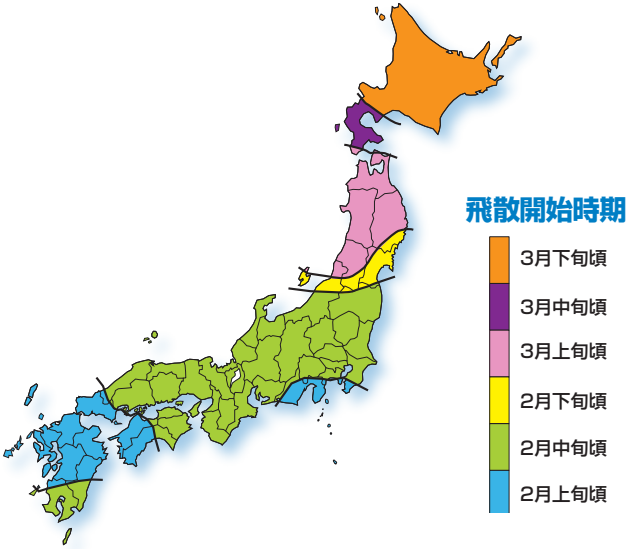
2027年
スギ・ヒノキ花粉
全国飛散予測



監修：NPO花粉情報協会 事務局長
佐橋 紀男 先生

飛散開始日は例年と同じか、やや早くなるでしょう

2027年春のスギ花粉前線予測図



解　説

スギ･ヒノキ花粉の飛散数は、前年の6月～7月の日照時間の長さと、過去の飛散数の周期で決まる傾向があります。近年の例では、2018年、2019年と2年続けて大飛散（1シーズン合計10,000個以上）が認められ、翌2020年は約4,500個程度と過去10年で最も少なくなりました。2025年と2026年も同様に2年続けて大飛散となったことから、2027年春は2020年のように飛散数が少なくなる可能性があると注目されています。

2026年6月の日照時間は関東から西の地域で平年より少なく、特に太平洋沿岸の地域で少なくなりましたが、7月には一転して平年を上回り、東海から九州北部にかけて特に多くなりました。このため、2027年春のスギ･ヒノキ花粉の飛散数は全国的には例年(過去10年の平均)と比較して例年並みかやや少ない地域が多いですが、北陸や東海の一部、西日本の一部で例年よりやや多い見込みです。また前年との比較でも例年と同様の傾向ですが、東海や四国など一部の地域でやや多くなる見込みです。

スギ花粉の飛散開始日は例年と同じかやや早くなる見込みです。中国地方西部から九州北部では1月末に飛散が開始する可能性がありますが、1月後半の降雪状況によって遅れる可能性もあります。

2027年春のスギ・ヒノキ花粉飛散予測

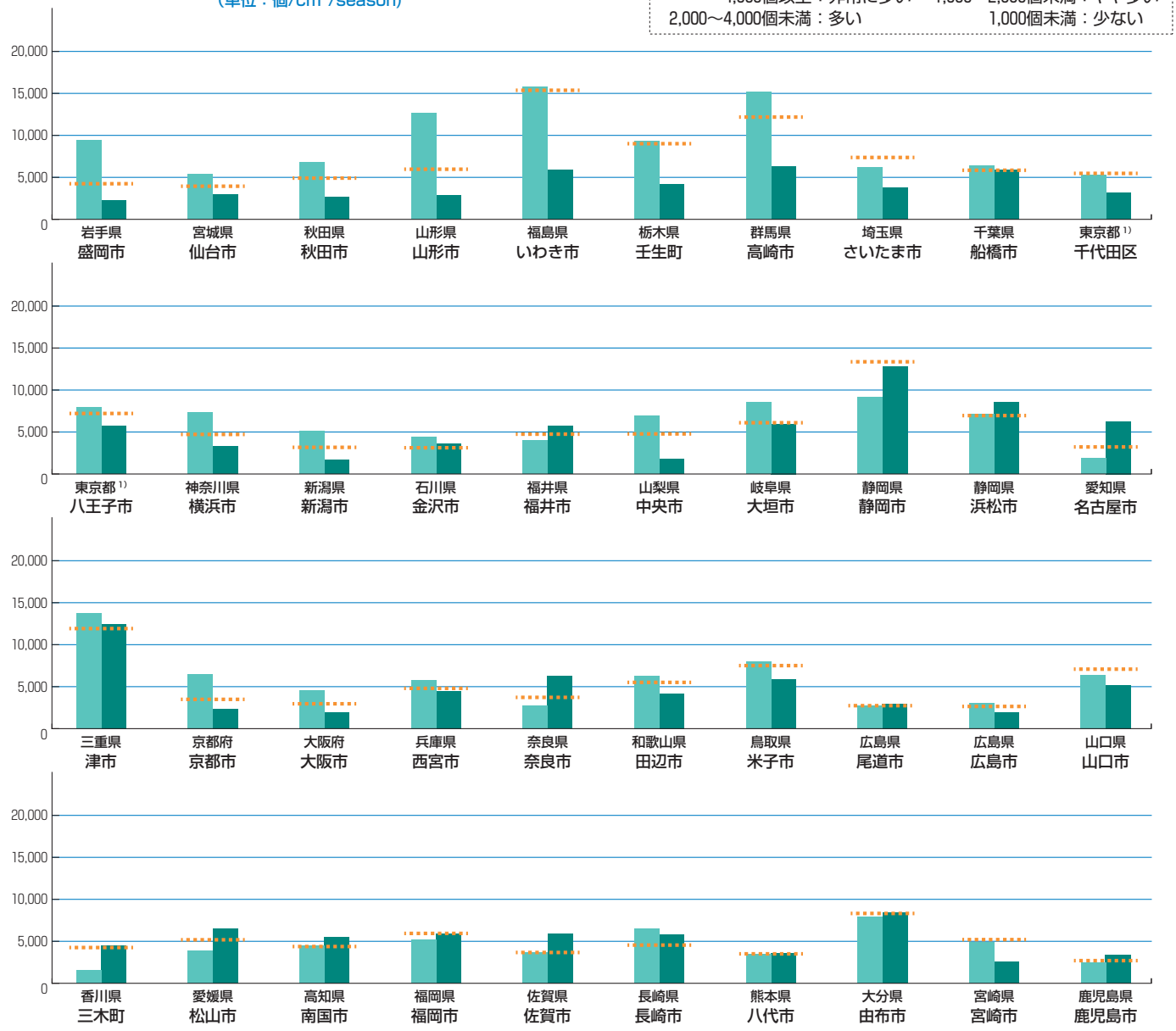
2027年春の花粉飛散数は、前年及び例年(過去10年平均)並か少なめですが、東海から西の一部の地域でやや多くなる見込みです。

スギ・ヒノキ花粉飛散数

(単位：個/cm²/season)

2026年実測値　2027年予測値　過去10年間(2017～2026年)平均値

4,000個以上：非常に多い　1,000～2,000個未満：やや多い
2,000～4,000個未満：多い　1,000個未満：少ない



NPO花粉情報協会の加盟施設からの花粉飛散情報です。　1)東京都アレルギー情報navi.より引用

(2026年9月上旬時点での予測、NPO花粉情報協会)

花粉症対策のポイント

花粉をなるべく浴びない・吸わない工夫をしましょう

屋外編

外出前

1 花粉情報のチェック

テレビ・インターネット・新聞等で花粉飛散状況や天候をチェックしましょう

2 花粉症対策の服装

・メガネ(ゴーグルタイプが効果的)
・花粉対策マスク
・毛織物は避ける
・つばの広い帽子

帰宅時

3 玄関の外で花粉を落とす

コートや帽子、カバンはまず軽くはたき、固く絞ったタオルなどでさっと拭きとりましょう

4 手洗い、うがい、洗顔、シャワー

室内編

1 花粉の多い日は窓を閉める

気温が高く湿度が低い日や風が強い日は花粉の飛散量が多くなります
特に雨上がりは前日に飛ばなかった花粉に加え、地面に落ちた花粉が乾いて舞い上がるため多くなります
換気には換気扇や空気清浄機を有効活用しましょう

2 布団は干さずに乾燥機で

3 洗濯物は乾燥機か室内干しで

外に干したときは、取り込む際に洗濯物表面の花粉を払いましょう

4 こまめな掃除

ほこりが立たないように掃除しましょう
拭き掃除がオススメです

5 日頃の体調管理

十分な睡眠とバランスの良い食事、適度な運動を心がけましょう

あなたのかかりつけ健康サイト

サワイ健康推進課



「サワイ健康推進課」は忙しいみなさんの健やかな将来に向けて、旬な話題や健康のヒントをお届けする健康情報サイトです。

アクセス 検索 サワイ健康推進課 または

医療機関名

沢井製薬株式会社